

平成30年度予算見積調書

課室名：嵐山史跡の博物館

担当名：総務担当

内線：

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B100	オリパラおもてなしミュージアム サムライ体験in嵐山～城跡で武将と姫に大変身～		一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費		
事業期間	平成29年度～平成32年度	根拠法令	史跡の博物館条例、文化財保護法		宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化		
					分野施策	061349	文化芸術の振興		
1 事業概要			5 事業説明						
<p>2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックが実施されるのにもない、増加が見込まれる県内外や外国からの観光客へ嵐山史跡の博物館の歴史文化の魅力を発信する。そのための基盤整備と広報活動を実施する。</p> <p>また、ボランティアを育成し、県民が博物館活動に参加する機会を提供するとともに、県民と一体となり観光客へのおもてなしをおこなう。</p> <p>(1) 魅力的な博物館整備事業 7,574千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 魅力的な博物館整備事業 展示室等多言語化、Wi-Fi運用、体験用具整備、ボランティア養成 7,574千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 展示室替に係るパネル、館跡内の案内板を翻訳し、外国人観光客受け入れ体制を整える。</p> <p>イ 老朽化した展示機器を改修し、多言語化する。</p> <p>ウ 体験学習用具の整備をおこない、外国人が来ても着装体験等ができるようにする。加えて、体験活動をきっかけとして新規の来館者層の獲得をおこなう。</p> <p>エ ボランティアを募集・養成し、県民へ生涯学習活動の場を提供する。</p> <p>(3) 事業効果(平成32年度目標)</p> <p>入館者数 53,000人</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア ボランティアの育成：鎧・着物の着装体験、制作体験(よろい、勾玉など)を通して日本を実感</p> <p>イ 職員のマンパワー活用：新規体験学習の検討(絵巻物作成、拓本教室、学芸員の仕事体験など)各種イベントの企画(自然観察、文化財めぐりなどを通して歴史に親しむ)</p>						
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(区分)その他教育費 (細目)社会教育費(細節)社会教育施設費 (積算内容)博物館費 地方創生推進交付金 地方負担10割に対し、交付税措置あり									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×6人=57,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	7,574	国庫支出金	3,676					3,898	3,304
前年額	4,270							4,270	